

2019年8月20日

【2017年度受注案件】
ソヤノウッドパワー株式会社木質バイオマス発電所(14.5MW)向け
燃料受入、貯蔵及び搬出設備据付工事着工

株式会社三井三池製作所(代表取締役社長 平川 幸知、本社:東京都中央区、以下「当社」)は2018年3月、ソヤノウッドパワー株式会社(征矢野建材株式会社、九電みらいエナジー株式会社、株式会社九電工、北野建設株式会社、一般社団法人グリーンファイナンス推進機構および八十二キャピタル株式会社の6社が出資する発電事業会社)が長野県塩尻市で計画する木質バイオマス発電所(以下「本発電所」)建設工事のうち燃料受入、貯蔵及び搬出設備の設計から設備の供給、据付及び試運転までを受注していましたが、同据付工事が2019年6月より着工いたしました。

木質バイオマス発電所としては長野県内最大規模の出力14.5MWの本発電所を建設することで、これまで山林に残置されてきた間伐材等の未利用材や木材加工施設から発生する製材端材を燃料として使用し、発電を行うことが予定されています。

当社は今後も、密閉性に優れ粉塵の飛散を抑制する環境にやさしい設備をお客様のプラントに適した形で納めることで環境負荷の低減、プラント運営の効率化に貢献していきます。

【燃料受入、貯蔵及び搬出設備の概要】

- 稼働地 : 長野県塩尻市
- 主要設備 : 受入・払出コンベヤ、7,400 m³サイロ等(制御含む)
- 搬送物 : 国産木質チップ(未利用材、製材端材)
- 契約範囲 : 設計、製作、供給、据付、試運転
- スケジュール : 2020年10月稼働予定

【お問い合わせ】

本件に関するお問い合わせは、以下までご連絡をお願いいたします。

- プラント営業部

TEL 03-3270-2006

以上